

最初に作り育ててきた“蒸し大豆のパイオニア” 4/1 マルヤナギ 蒸し豆新工場 操業スタート 蒸し豆生産量 2 倍に 更なる需要増へ生産体制を強化

このたび、蒸し豆・煮豆・佃煮メーカーの株式会社マルヤナギ小倉屋（神戸市東灘区:代表取締役社長 柳本一郎）は、かねてより兵庫県加東市に建設中であった蒸し豆の新工場を2020年4月1日より操業開始いたします。

最新鋭の設備を導入、蒸し豆生産能力 2 倍へ

2004年1月の蒸し大豆発売から17年目を迎えた2020年4月1日(水)、マルヤナギ社工場(兵庫県加東市)にて、最新鋭の設備を導入した蒸し豆・蒸しもち麦の新工場が稼働を開始します。社工場敷地内4棟目の建物となります。

マルヤナギ社工場

- ・蒸し豆・蒸しもち麦新工場
 建設着工 2019年6月
 操業開始 2020年4月1日
- ・蒸し豆生産量 2 倍へ
 自動化・ロボット化で生産効率を上げる設計
- ・省エネ設計(水や電気)で環境負荷を抑制



社工場蒸し豆新工場(兵庫県加東市沢部 655 番)



2004年1月蒸し大豆発売から16年、健康価値が注目される蒸し豆商品

<参考> 伸張を続ける蒸し豆市場

2019年は65億円規模に

蒸し豆市場は2018年に水煮豆市場(50億円)に並んだ後も伸張を続け、2019年は65億円と前年130%の伸びとなりました。

* マルヤナギ調べ

